

# 緑区町内自治会だより



発行 緑区町内自治会連絡協議会  
代表者 大槻 勝三  
発行日 令和6年3月1日

〒266-8733 千葉市緑区おゆみ野3-15-3  
事務局 千葉市緑区役所地域づくり支援課内  
Tel.043-292-8105

【第14号】

## 緑区ふるさとまつり 好天のもとで開催【土気地区】

令和5年11月5日(日)に緑区ふるさとまつりが土気にある「昭和の森(太陽の広場)」で開催されました。ふるさとまつりは、市民の日の関連行事として地域の住民が企画・運営し毎年11月に開催されていましたが、台風被害やコロナ禍により令和元年から3年間中止されました。昨年度4年ぶりに開催されましたが、規模を縮小しての開催でした。今回は例年通りの規模に戻っての開催となり、季節外れの暖かさもあり2万2千人の区民が楽しい一日を過ごしました。

メインステージでは、勇壮な和太鼓・よさこい、楽しいフラダンス・リズムダンス・ヒップホップ、はつらつとした吹奏楽・チアリーダー、優雅な舞踊等、14のグループが熱演し、観客を魅了しました。



【吹奏楽部の演奏に多くの拍手が起きていました】



### 【行政機関等 PR コーナー】

地震体験、ミニ踏切安全体験や消防車・パトカー・白バイ試乗などに多くの子ども達が興味津々で参加していました。



### 【こどもコーナー】

ベーゴマ・輪投げなど昔ながらの遊びに、スリッパ投げ・豆つかみなどの工夫を凝らした遊びが行われており、その一面では、親子で作ったペットボトルロケットが青空高く打ち上げられていました。

### 【出店コーナー】

商工会や各種団体が食べ物・飲み物の他、地元の農産物・工芸品を販売していました。フリーマーケットエリアでは、地域の方をはじめ多くの出店があり、掘り出し物を探すたくさんの方々でにぎわいました。

今回、交通渋滞緩和のために、初の試みとして3キロ離れたあすみが丘運動広場にも駐車場が設けられました。送迎バスが運行されていました。

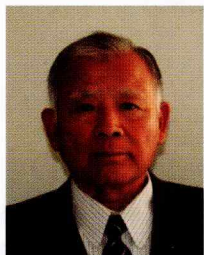
秋の休日、天候にも恵まれ、非常に多くの区民の笑顔を見ることが出来ました。次回も、多くの方々が集い、会場が笑顔であふれかえることを願っています。

(記事：土気地区連協 [第23地区] 中谷 浩)

### 紹介コーナー

今年度、緑区連協に加盟した町内自治会をご紹介します。【平山地区】エアリーヒルズ鎌取自治会(鎌取町)  
★近隣町内自治会の皆さまには、暖かいサポートを宜しくお願いいたします★

## 区連協会長挨拶・緑区長挨拶



ご挨拶

千葉県緑区町内自治会連絡協議会

会長 大槻 勝三

町内自治会の皆様には、日頃より緑区町内自治会連絡協議会運営に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年は地域での夏祭りや秋のスポーツイベントなどの開催の報告が聞こえてくるなど、コロナ前の生活に徐々に戻りつつあることを実感します。

緑区連協におきましても、バス研修を4年ぶりに開催することが出来ました。「地域のブランド力」について学び、今後の町内自治会活動に非常に役立つものであったと思います。また、昨年度には規模を縮小しての開催であった11月の「緑区ふるさとまつり」が通常開催となり、徐々に本来の活動を再開することができております。

町内自治会は地域コミュニティの基礎であり、社会情勢が変化しても必要不可欠な存在でございます。

住民のみなさまにとって、暮らしやすく、安心・安全な「緑区」を育てていくために、今後とも一層のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

緑区長 長瀬 正一

町内自治会の皆様には、日頃より市政並びに区政推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

また、日頃の防災、防犯活動や地域コミュニティ継続のための様々な活動にご尽力いただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

本年4月より新たな「千葉市基本計画」がスタートしました。100年先の未来を見据え、10年後に実現すべき千葉市の姿を定めたものです。区役所と地域が顔の見える関係を築き、「田園と調和する広やかで快適なまち」を目指してまいります。

今年は地域の夏祭りや運動会などが催され、多くのイベントにご招待いただき、地域が一体となって活動されていることを実感いたしました。

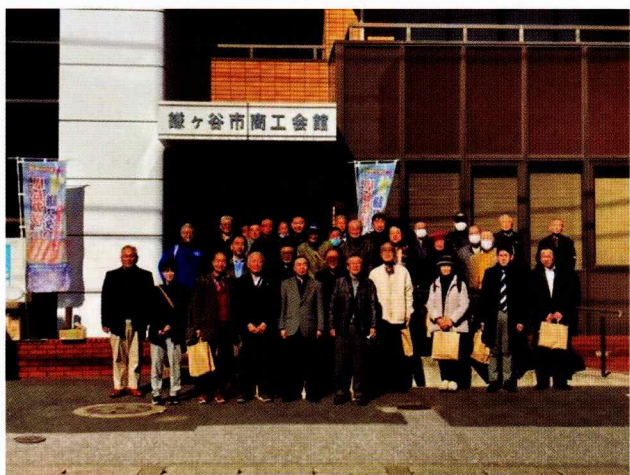
今後も、地域活動が活発になるよう努めてまいりますので、緑区町内自治会のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

## 令和5年度 バス研修会について

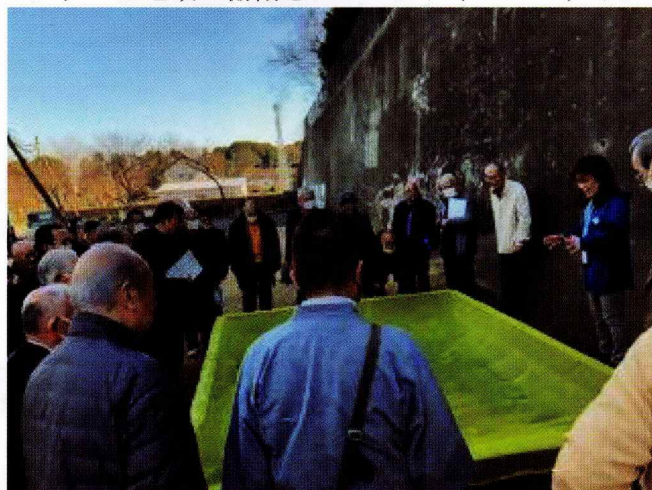
【令和6年1月30日（火）】

4年ぶりに緑区連協バス研修会が開催されました。町内自治会相互の連絡、協調と親睦をはかり、これらを通して区内の町内自治会活動を積極的に推進し、行政機関に協力するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

地域のブランド化というテーマで鎌ヶ谷市商工会、ホームタウンと地域の協働をテーマに日本ハムファイターズ鎌ヶ谷スタジアムを視察しました。



鎌ヶ谷市商工会さんでは、実際にアンテナショップである鎌ヶ谷ブランド館にて販売しているものについてや他団体との連携や情報の発信について説明を受けました。



日本ハムファイターズ鎌ヶ谷スタジアムでは、イベント開催時における地域連携の取り組みなどを学びました

## 『おゆみ野夏まつり』が4年ぶりに開催【おゆみ野地区】

「おゆみ野夏まつり2023」が開催されました。

日時：令和5年8月5日（土）16時～20時

場所：泉谷小学校（メイン会場）  
泉谷中学校とその周辺道路

4年ぶりの開催となり、6,500人を超す多くの皆さまが来場され過去最高を記録しました。「盆踊り」や「地域の皆さまの熱演」に加え、恒例の「お楽しみ抽選会」も行い、大盛況のうちに終了しました。

おゆみ野地区連協ホームページ

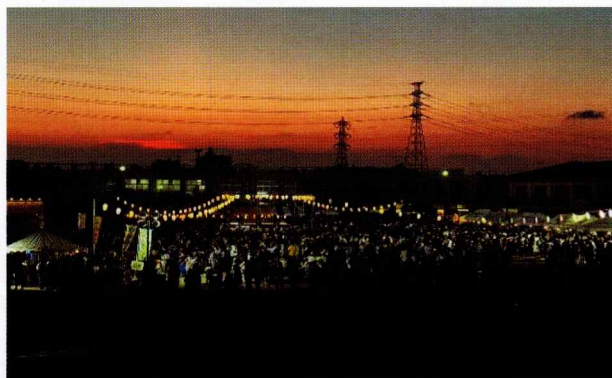
<https://oyumino-chikuren.jimdofree.com/>



（記事：おゆみ野地区連協【第44地区】中野 敬一）



【多くの人が参加していた盆踊り】



【大盛況の会場】

## 辺田町内会の夏祭りの開催【平山地区】

【令和5年8月27日（日）】

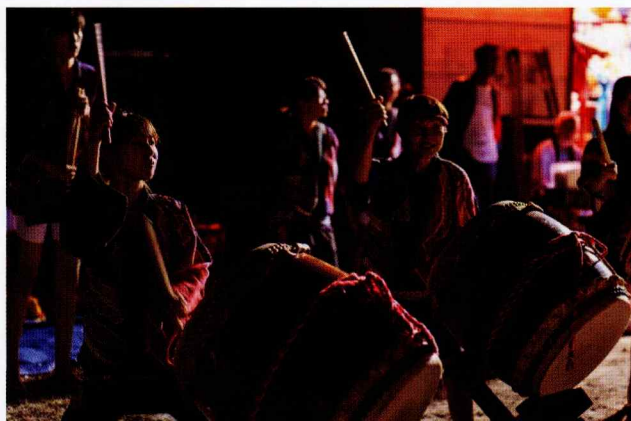
三社神社広場（緑区辺田町322）にて、辺田町内会主催の夏祭りが4年ぶりに開催されました。

向日葵太鼓や、やきそば等の出店に加え、町の出し物として輪投げ、ヨーヨー釣り、子供花火（150セット）、打ち上げ花火等を行いました。

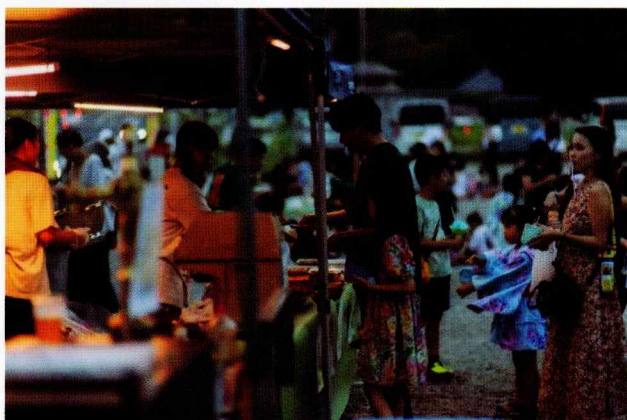
子ども達は輪投げや花火、太鼓をたたくなど賑やかに楽しんでいました。

4年ぶりの夏祭りは、子どもを含め300名の参加者により最高に盛り上がり、主催者側としては満足のいく結果となりました。

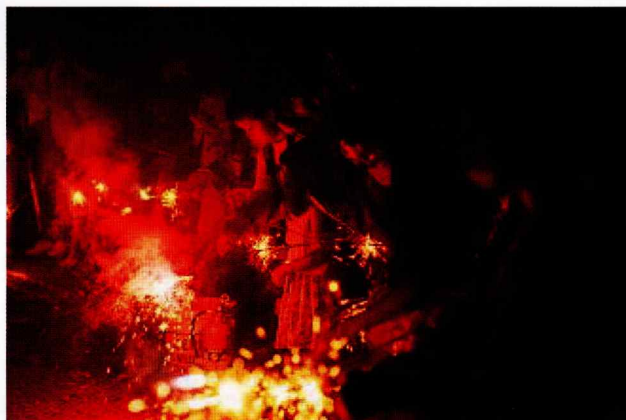
（記事：平山地区連協【第50地区】宮本 稔）



【勇ましい向日葵太鼓】



【多くの方で賑わう出店】



【たくさんのお子ども達が喜んでくれました】

## 誉田小学校創立 150 周年【 誉 田 地 区 】

令和 5 年 10 月 19 日（木）、誉田小学校にて、「誉田小学校創立 150 周年記念式典」を行いました。

午前中には「子供の部」として、鶴岡教育長をはじめ来賓の方々をお迎えし、千葉市消防音楽隊の演奏を聴いたり、バルーンリリース等をしたりと、お祝いしました。

午後は「大人の部」として神谷市長をはじめ地域の方々にお集まりいただき、式典を行いました。

【150 周年の歴史を胸に つなごう未来へ 誉田の絆】の記念幕のもと、児童のよい思い出として心に残る記念の 1 年になるように進めていきたいと思っています。

（記事：誉田地区連協 [第 12 地区] 加藤 和義）



【バルーンリリース準備】



【青空に映えます】



【当日撮影された記念の 1 枚】

## 椎名地区体育祭 5 年ぶりに開催【 椎 名 地 区 】

第 46 回椎名地区体育祭が令和 5 年 10 月 8 日（日）、椎名小学校校庭で、5 年ぶりに開催されました。

感染予防の観点から、「会場では食事をしない」という方針のもと、一部プログラムを前回から修正し、時間を短縮しての開催となりましたが、久しぶりの開催に参加者は大いに盛り上がりました。

結果は、「サンサン自治会」チームが前回大会に続き 2 度目の総合優勝を果たし、準優勝は「茂呂町内会」チーム、第 3 位は「古市場みどり」チームとなりました。

その他、町内対抗リレー、町内対抗玉入れ、ボールドリブルリレー、一輪車リレーの第 1 位のチームには、椎名地区スポーツ振興会に貢献された方々の氏名を冠したカップが贈られました。

来年こそは、従来どおりの開催ができるよう期待します。（記事：椎名地区連協 [第 14 地区] 川名 和弘）



【会 場 入 口】



【開 会 式 の 様 子】



【熱戦が繰り広げられた玉入れ】

編  
集  
後  
記

令和 5 年は、コロナ明け元年とも言えるのではないのでしょうか。感染症は 5 類に引き下げられ、マスク着用は自由になりました。緑区ふるさとまつりはより楽しくが追求できるようになり、地域の行事も以前を取り戻しつつあります。

デジタル化や AI（人工知能）技術が急速に進み、電子決済が増えコミュニケーションは ZOOM 等によるリモート会議が一般的になりました。小学校の授業でも、子供達がパソコンをスクリーンに映して発表する事が日常となりました。

編集委員は、会議を減らしてメールによる資料確認、校正を行いました。今後はリモート会議を行い、さらに効率的な運営をしたいと考えています

広報委員長 小山義春

広 報 委 員  
委 員 長 小山 義春  
1 2 地区委員 加藤 和義  
1 4 地区委員 川名 和弘  
2 3 地区委員 中谷 浩  
4 4 地区委員 中野 敬一  
5 0 地区委員 宮本 稔